

Research: 学校及び児童の実態

【学校の実態】 (R8 4/1現在)
 17学級 児童数 469名 特別支援教室拠点校
 教員 主幹(3) 主任(14) 教諭(9) 産育休代替教員(4)
【児童の実態】
 (1) 学力調査: 区内では低・中学年は上位。高学年は中位である。
 (2) 高学年になると、思いやりの心情や規範意識に関して課題が見られる児童の割合が増加する。
 [進路] 毎年度、国立、私立、都立中高一貫教育校に約50%の児童が進学している。通塾率が高く、80%程度である。

校長の学校経営方針

【基本方針】
 ア: 人権教育の充実 イ: 「社会に開かれた教育課程」の実現
 ウ: 道徳教育の充実 エ: 体育・健康教育の推進
 オ: 40分授業午前5時間制を取り入れた時間割編成の工夫
 カ: 生活指導の徹底 キ: 安全教育の推進 ク: 特別活動の充実
 ケ: 主体的・対話的で深い学びの実現 コ: 家庭・地域との連携
 サ: 学校評価を生かした教育活動の実践 シ: 異校種間の連携
 ス: 研究開発学校のカリキュラム・マネジメント セ: 高学年教科担任制

目指す児童像

【学校教育目標】 ◎・・・令和8年度 重点目標
 ○**明るい子**→社会の一員として、規律を守り、多様性を尊重しつつ、周りの人と調和し、意欲的に交流しようとする態度を育てる。
 ○**考える子**→基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させるとともに、それらを活用して、自ら学び考え、課題を解決していく思考力・判断力・表現力を育てる。
 ○**たくましい子**→目標に向かって、心身ともに健康であきらめずに根気強く取り組む態度や心情を育てる。
 ◎**思いやりのある子**→人権尊重の精神を基盤とし、他者の生命及び人格を尊重する豊かな心情を育成するとともに、規範意識を高める。

P: 計画

■指導の重点

- 学習指導
 - ・単元内自由進度学習を年3回実施
- 生活指導
 - ・マイプランの時間を活用し見通しをもった学習や生活
 - ・学校ルールの見直し及び全教職員によるルールの徹底

■午後の活用

児童
○マイタイム <ul style="list-style-type: none"> ・自学自習タイム ・フリースタイルプロジェクト (FSPJ)
教職員
○先生マイタイムの活用 ○若手研修会・チームOJT

A: 改善

■改善検討組織

- 学校運営協議会 ○運営委員会
- 学校評価委員会 ○研究推進委員会
- 生活指導部会 ○特別活動委員会
- 学年会・専科会 ○行事委員会
- 教科担任制推進委員会
- 研究開発委員会 ○周年委員会

C: 評価

■改善検討組織

対象	評価指標	目標値
児童	学校評価	「授業はよく分かる」 肯定的回答平均値 90%以上
	アンケート	「学校で落ち着いて生活している」 肯定的回答平均値 90%以上
教員	学校評価	「授業改善をしている」 肯定的回答平均値 95%以上
	アンケート	「落ち着いて学校生活を送っている」 肯定的回答平均値 85%以上
保護者	学校評価	「工夫した授業を行っている」 肯定的回答平均値 85%
	アンケート	「落ち着いて学習に取り組んでいる」 肯定的回答平均値 80%以上

D: 実施

午前5時間制一単位時間40分授業を生かすPDCA (進化・深化・新化・真価)

新しい学びを創造する(自律的な学び手を育てるための手だて)

■マイプラン(40分を生み出す!)

【目的】
 ・児童がタイムマネジメントする力を育てる。
 ・学習や生活の目標を明確にした生活を送る。
【時間】 月曜日の朝 10分間
【内容】 ①教師が週の予定や留意点を説明
 ②児童が目標や努力事項を記入
 ③活動の振り返り
【教員の対応】
 ①ガイダンス資料を作成する。
 ②マイプランの実践紹介を実施する。
 ③児童の振り返りを確実に行う。
 ※マイプランとリフレクションの往還

	月	火	水	木	金
1	MP				
2					
3					
4					
5					
6	OJT				MT
7					

家庭学習

■マイタイム(40分を生かす!)

【目的】
 ・自律的な学び手を育てるための時間として活用する。
 ・学習の個性化を図る。
【方法】 ①自学自習タイムとして活用する。
 ②フリースタイルプロジェクトを実施する。
【時間】 毎週、金曜日6校時を原則とする。
【教員の対応】
 ①学習計画を立て、個別学習を進める力を育成する。
 ②児童が興味・関心のある活動に、見通しをもち、取り組む時間の準備や支援を行う。

年間合計
35時間

■マイプラン学習(40分の中で!)

【マイプラン学習】
 各教科のねらいに沿って、自分に合った学習の仕方をデザインする力を育成する。
【各教科の指導】
 ねらいを明確にした単元デザインを通して、各教科等で目指す資質・能力を育成する。

単元内自由進度学習

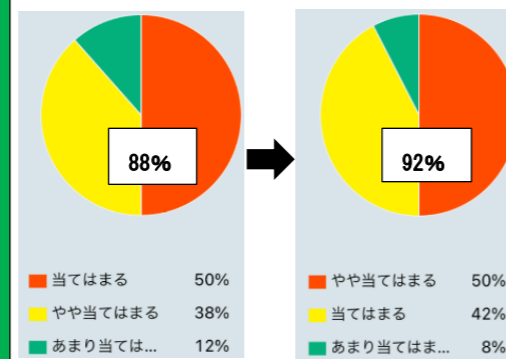
■チームOJT(40分を生かす!)

【目的】
 ・若手教員の育成を中心として、教員の問題意識をもとに年間を通じて高め合う。
【内容】 ※ミドルリーダー(主任教諭)による運営
 ・学年を超えた研修グループを設定する。
 ・年間を通して月1回のOJTを行う。
 ・研修の成果を発表し共有する。

■家庭との連携(40分を生かす!)

【目的】
 ・学習時間を有効に活用するため、学習過程にもとづく効果的な指導を行う。
 ・家庭学習と連携して学習活動の補完を行う。
【内容】
 ・家庭学習の成果の発表⇒課題解決のための交流⇒
 ⇒家庭学習の課題の提示⇒家庭学習という学習過程

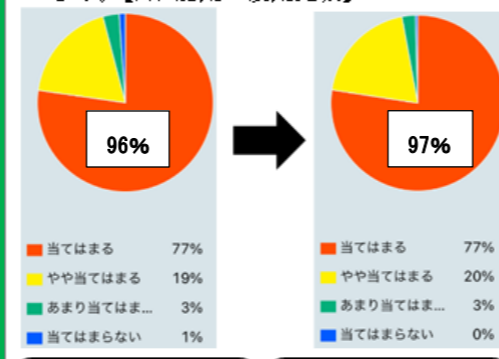
★教員★ 区アンケートより
 Q「自己選択学習の時間」は、児童に有効な時間だと思えますか。【R7前期・後期比較】



児童の得意なことを伸ばす姿や苦手なことを克服する姿などを見ていると、学ぶことに喜びを感じることが伝わってくる。

モチベーションが普段の授業でも発揮され、受け身の姿が減った。

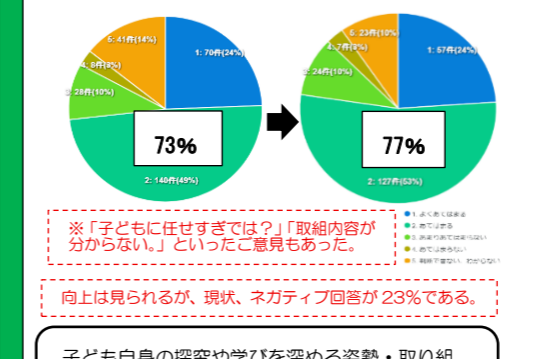
★児童★ 区アンケートより
 Q「自己選択学習の時間」は大切だと思えますか。【R7前期・後期比較】



学校で、自分のやりたいことができ、嬉しい。

自分で考えて学ぶ経験は、大人になって役に立つはず。
 友達の知らなかった一面を知ることができた。

★保護者★ 学校評価より
 Q「自己選択学習の時間」に子どもたち一人ひとりの興味・関心や学習上の課題から学びを選択する活動に取り組むことができているか。【R6・R7比較】



子ども自身の探究や学びを深める姿勢・取り組み方を身に付けるという点において、大変有効な取組である。大いに評価すべき。

FSPJの時間だけではなく、日々の生活を生き生きと過ごすことにもつながっている。さらに、友達の興味や特技に気付く、他者を尊敬する気持ち、受容する気持ちも育てている。

自分から学ぶ姿勢の確立

【午後の時程の特色】
 低学年: 短時間学習(20分間)の設定
 中・高学年: 80分授業の弾力的な時間の設定も可能

4~6年の時程

目黒区立中目黒小学校

週時程表(4・5・6年)40分授業

	月	火	水	木	金
登校時間	8:05~8:15 登校				
朝の活動	8:15~8:25	マイプラン	放送朝会	朝学習	読み聞かせ
朝の会	8:25~8:35 朝の会				
1校時	8:35~9:15	1	2	3	4
2校時	9:20~10:00	6	7	8	9
3校時	10:04~10:45	11	12	13	14
中休み	10:45~11:05 中休み・移動				
4校時	11:05~11:45	16	17	18	19
5校時	11:50~12:30	21	22	23	24
25	25	26	27	28	29
26	26	27	28	29	30
27	27	28	29	30	31
28	28	29	30	31	
29	29	30	31		
30	30	31			
31	31				

右に詳細を記載

【令和7年度からの新たな取組】

- ※以下の取組は令和8年度も実施予定
- (1) 発表会の設定**
 これまでは学級内で発表会を実施していたが、令和7年度は、異学年での発表の機会も設定し、参観を希望する保護者に公開した。
 - (2) 保護者への公開**
 これまではボランティアをしてくださった保護者の方に発表会のみ公開していたが、令和7年度は後期よりボランティア以外の保護者の方にも、発表会及び通常の活動の様子を公開した。
 - (3) FSPJ説明会の開催**
 FSPJの取組内容が分からないという学校評価のご意見を聞き、公開日に説明会を開催し、取組内容の理解を深めた。